

ぼうさいこくたい 2021 においてワークショップ展示を実施しました（2021/11/6）

テーマ：防災教育、防災・減災スタンプラリー、防災カウンセリング
 会場：釜石市民ホール TETTO（岩手県釜石市）
 URL：<https://bosai-kokutai.jp/>

2021年11月6日（土）・7日（日）に、釜石市民ホール TETTO（岩手県釜石市）において、ぼうさいこくたい 2021 が開催されました。ぼうさいこくたいは、セッションやブース展示、ワークショップを通して、東日本大震災からの 10 年を振り返ると同時に、これからの復興と防災の在り方について、家族連れから専門家まで幅広い人が学び、考えることができるイベントです。第 6 回目である今年は、テーマ「～震災から 10 年～つながりが創る復興と防災力」のもと開催されました。地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門としては、初回の 2015 年から数え、昨年のオンライン・ブース展示に続き、今回が 6 回目の出展となります。

今回は大会 1 日目である 11 月 6 日に、「防災・減災スタンプラリー！～みんなで話して考えよう～」と題し、保田真理プロジェクト講師（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）が（株）シヤチハタとの産学連携により開発したスタンプラリーを用いた現地ワークショップと、サッパシー・アナワット准教授（津波工学研究分野）（津波シミュレーション、オンライン）、西依英俊特任教授（地震津波リスク評価（東京海上日動）寄附研究部門）（災害保険）、内田典子助教（同）（沿岸域生態系 Eco-DRR）による防災カウンセリングを実施しました。その他、杉浦加奈子事務補佐員が運営支援を行いました。

感染対策のため、参加者の上限は 20 名と限られましたが、小学校低学年のお子さんや大学生、大人の方まで、入れ替わりを含めて総勢 20 名以上の方にご参加いただきました。ご参加いただいた方には、日常においても災害への備えを考えてもらえるよう、減災ハンカチおよび準備しておくべき防災グッズについて描かれたクリアファイルをお渡しし、盛況のうちに展覧を終えました。



寄附元である東京海上日動の秋葉氏（右）



スタンプラリー事前学習の様子



防災カウンセリングの一場面（オンライン）



防災・減災スタンプラリーの様子